

S.A・ネット大阪ニュース 第33号

発行 NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪 <http://sanetohsaka.com/>
〒540-0006 大阪市中央区法円坂 1-1-35 大阪市教育会館(アネックスパル法円坂)内
認定 NPO 法人大阪府高齢者大学校内 TEL: 06-6360-4565 FAX: 06-6360-4410

◆ ◆ 第13期通常総会開催の報告 ◆ ◆

令和元年6月1日(土)午後1時半より、大阪市中央区「大阪ボランティア協会」2階会議室にて、第13期通常総会が開催されました。

司会は森川加也氏(理事)で、武内信憲理事長からの開催の挨拶後、ご来賓の認定NPO法人大阪府高齢者大学校理事長代理古谷弘道様よりご挨拶を頂戴しました。

総会議長には武内信憲氏(理事)が選出され、次議案の議事が進行されました。第1号議案「第13期事業報告承認の件」、第2号議案「第13期活動計算書報告と監査報告承認の件」、第3号議案「役員選任の件」(村松秀明新理事長承認)第4号議案「第14期事業計画(案)の件」、第5号議案「第14期活動計算書予算(案)の件」について、村松秀明新理事長、事業部担当二葉副理事長、及び各理事、広報部大川副理事長、島田道子会計理事より、第13期の各報告、新鞍清彦監事より監査報告、第14期計画の各提案、審議があり結果それぞれ可決承認されました。

◆ 第13期通常総会を迎えて理事長の挨拶 ◆

理事長 武内 信憲

本日はお忙しいところ、また暑い中、シルバーアドバイザー・ネット大阪の第13期通常総会にご参加いただきまして誠にありがとうございます

私どもの団体も世の中の流れと同じく高齢化が進んでいます。設立当初からの根幹になりますおもちゃづくり事業部、おもしろ算教室事業部、国際交流事業部はこの一年皆様のご理解とご支援によりまして、成果を生むことができました。

正会員・賛助会員の方も何とか維持できています。事業の回数は今までのような頻度で行うことができなくなっていることは残念なところです。おもちゃづくりをしてみよう、おもしろ算教室に参加して一緒に活動してみようという仲間の方が今後一層増えてくることを期待しています。国際交流活動につきましても、各会員は個々に様々な活動をされていますが、他の事業部の活動と同様仲間づくり、一緒に活動しようという方が順調に増えていないところが残念に思うところです。どうか活動の中身がわからない方もおられるかもしれませんので、本日の各事業部の報告を聞いていただいて、新年度の活動予定をきいて、是非とも一緒に活動仲間に入ってくださいようお願いいたします。

各事業部の活動内容は別冊の添付資料を参考にしてください。

フレイル(加齢による虚弱)の予防についての講座も2回実施して健康寿命を維持するために一緒に考えてきました。新年度は新しい体制で、新規会員の応援をいただき前進したいと思います。

◆ ◆ ◆第13期事業報告◆ ◆

I. 第13期事業 総括報告 (報告者：武内理事長)

この一年は世界の地域紛争が頻発し、各国の主張が対立し、各国内の勢力が対立するという大変厳しい状況です。情報技術が目覚ましい勢いで進歩を遂げています。国内では、高齢化が一層進む中で、医療費や介護保険料の負担が大きくなってきています。

シルバーアドバイザー・ネット大阪(以下SA ネット大阪という)は平成18年4月に設立され、高齢者が長年培ってきた知識や技能を生かしてこの一年間地域社会で活動し、子どもたちの健全育成、高齢者の生きがいづくりや、安全で住みよい街づくりのために活動してまいりました。

① 各事業部について

・伝承おもちゃづくり事業部は子ども達が自分で作ったおもちゃを使って、親子や、またみんなで楽しむ企画を、各地域で実施してきました。定例の「おもちゃづくり教室」の参加者の中には、おもちゃ作りの指導を受けた成果を生かして、地域活動に参加してスタッフに加わるという良い結果が出てきました。

・おもしろ算数教室事業部は、子どもたちには自分で考える力を身に付けてもらい、高齢者には脳の活性化を図ることをモットーに、出前教室を開いて好評を得ました。

・国際交流事業部は国際交流サロンを開催し、海外の事情を紹介し、いろいろな国からの留学生との交流会を持ち、国際交流と相互理解を深めることができました。大阪大学留学生のホストファミリー活動も個人単位やグループでの交流の会が進んでいます。

・広報部は広報誌「S A・ネット大阪ニュース」を発行し、ホームページでは各事業部の報告と行事予定を随時更新してきました。会員の日頃の活動を「かわら版コーナー」として順次投稿していただいた記事も好評でした。

② 他団体との連携

大阪府高齢者大学校(以下高大という)の創立10周年記念としてのスポーツ大会、講演会などのコーダイフェスタ2018では展示コーナーに参加しました。大阪区民カレッジと大阪府民カレッジの受講生にはおもちゃづくりの指導で参加しました。第1回校友会フェスタに参加して、受講生と各OBの加入団体と情報を共有し、日頃の活動を紹介することができました。

II. 事業部 活動報告

1.伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動報告 (報告者：三田理事)

前期のおもちゃづくり事業部の活動は大別して3つの活動に集約されると思われます。

① 四天王寺「わか市」を中心とした出前活動

四天王寺「わか市」は、昨年度は9回参加、毎月第一日曜日に催されます。

家族で趣味的に作ったものを展示して、出店する人たちが大半で、自分のテントを携え、参道に沿って出店しています。私達は四天王寺側の好意でメイン参道の一角で、主催者側用に設営されたテントを借りて2年前から参加。出展者の家族、参詣客、観光客に加え、近隣住民の子ども達にも人気ที่定着した感じで、主催者側からも喜ばれています。

② 大阪区民カレッジ・大阪府民カレッジの各校受講生の年間カリキュラムに組込まれ「おもちゃづくり」を指導。(昨年度は2校3回)。受講生が修了後、地域住民との交流する端緒づくりの一環として役立っています。

③ 「おもちゃづくり教室」の開催

世代間交流の方策の一つとして「おもちゃづくり」が注目されてから四半世紀が経ち、裾野を広げる目的で始めた「教室」も、間もなく100回を数えます。地域でボランティア活動をしようとする人達がレパトリーを助けようと熱心に参加し、活動時に応用し、更に自ら工夫して披露して、仲間と情報を共有しあう楽しい雰囲気味わって楽しんでいます。年代、経験にとらわれることなく気楽に参加できるのも魅力的です。「おもちゃづくり」の指導者の世代交代も緩やかな動きながら進んでおり、これまでの活動もそれなりに成果があったのではないかと考えています。

2. おもしろ算数教室事業部 活動報告 (報告者：二葉副理事長)

① 出前教室・・・高齢者向け4回 実施

高齢者向けに実施をしているところでは、参加を重ねた方は、楽しんでおられる様子がみえます。また「錆び付いていた脳が元気になった」とも仰っておられます。

皆さん「楽しみながら、いつまでも心身共に元気で過ごしたい」との強い思いが窺えます。

② パズル体験・・・6回実施

少ない開催でした。そこで、「いかにこの機会を、増やしていくか」が課題です。「パズルをすると、頭を測られるのが嫌」との声への対応に関しては、少し幅の広い机が確保できる限り、清少納言チェの板を楽しんで頂きたいと準備をしましたが、どうすれば、取り組み始めていただけるかが問題です。

③ パズル塾・・・5回実施

サポーターの方の努力により、実施できました。

3. 国際交流事業部 活動報告 (報告者：村松理事)

2018年度は国際交流事業部としての体制再構築から始めました。

毎月の運営委員会では、活動の内容をどのようにするか議論を重ねました。

従来の講演会スタイルの開催は1回に留まりましたが、どうすれば多くの賛助会員の方が参加して頂ける活動ができるかの協議を重ね留学生交流プログラムの実施という結論に達しました。

すでに年度初めから実施している、大阪大学ホストファミリープログラムの実施要領を参考に大阪日本語教育センターに於いても実施していく事にしました。並行して受け入れ側のメンバーとして高大の国際文化交流科の修了生に働きかけて賛同者に参加して貰う事にしました。修了期の違う1期から5期のメンバー40名が集まり留学生との交流を進めていく事になりました。又高大国際文化交流科5期修了生のなかから留学生の就職活動を支援する活動を始めていきたいというグループが生まれSA ネット大阪国際交流事業部の新たな事業として活動していこうとしています。

- ・運営委員会の開催
毎月理事会開催日の午後に開催
2018年4月～2019年3月まで12回開催
- ・国際交流サロンの開催内容
第39回国際交流サロン
日時：2018年10月21日（日）
場所：大阪日本語教育センター
講師：新鞍清彦氏（大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会 理事長）
演題「回教圏でのプロジェクトから学んだ事」
参加人数：78名（内留学生9名）
ワークショップにおいてはテーブル毎に留学生と交流
- ・大阪大学ホストファミリー活動内容（OHP）
春季OHP活動 留学生3名 ホストファミリー3
秋季OHP活動 留学生5名 ホストファミリー5
交流イベントの開催 4回
留学生対面式 2回
- ・大阪日本語教育センター留学生交流プログラム（I-SEP）
高大国際文化交流科説明会 2/25（月）
高大修了生向け説明会 3/1（金） 40名参加
- ・留学生就職活動支援事業(4-Ist)
立ち上げ打ち合わせ会 2/12 2/20 3/5
研修会 3/26

4. 広報部 活動報告 （報告者：大川副理事長）

1) 広報誌の発行

① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」年3回発行。

- ・30年04月＝29号下期報告。
- ・30年07月＝30号総会資料。
- ・30年11月＝31号上期報告。

※記事内に会員交流の場として「会員かわら版コーナー」継続し、累計30名の方に寄稿頂き、会員同士の活動の情報交換に貢献したのでは、ないかと思う。

- ② 「SA ネット大阪 PR チラシ」 修正版、SA ネット大阪の PR に活用、引きつづき高大、3F 校友会の PR コーナーのラックにも配架し、SA ネット大阪の PR に努めました。
- ③ 関連団体の「アクティブシニアフェスタ 2018」や「10周年コーダイフエスタ」「30年度高大修了式」「修了生終了後の活動の場説明会」に参加、PR コーナーで資料よる SA ネット大阪の PR、会員募集に努めました。

2) ホームページの推進

① SA ネット大阪主催のイベント情報

- ・「国際交流サロン」、「おもちゃづくり教室」、「おもしろ算数教室」「フレイル講座」等の、各事業部のHPにアップ更新しました。

②トップページに設けた各事業部「トピックスコーナー」に、毎月のホットニュースをアップ。「ホット情報」を届ける様にしています。

③SA ネット大阪会員の活動アップ

- ・「千里英語サロン」、「おしゃべり会」、「ニランジャンナセワサンガ」、
- ・「SA 連協歌体操フェスタ 2019」「ふくし大阪6月号」等、紹介をしました。

④ホームページ現状を HP プロジェクターでの説明をしました。

3) 関連団体主催のイベントに参加

- ・「10周年コーダイフェスタ」・「30年度高大修了式」「アクティブシニアフェスタ 2018」等に参加、ホームページにてアップ報告 PR、会員募集に努めました。

◆ ◆第 14 期 事業計画◆ ◆

I. 第 14 期 総括事業方針（報告者：村松新理事長）

先ほど総会、理事会で理事長に選任して頂きました村松です。

改めて今期よろしくお願ひ致します。各事業部の活動方針は事業部長が発表されるので私の方から法人として確認しておきたい事、そして今後の方向性について提案を行いたいと思います。一つは13年前の設立の趣旨の確認です。

節目には初心に帰るという事をよく言われると思いますが、今年度は多くの新しいメンバーの方に参加して貰って活動を進めて行くわけです。私も含めて設立当時の事は知らないわけですが、その時の気持ちを理解していこうという事です。

昨年永田元理事長が改めて SA ネット大阪ニュースに設立の経過・趣旨を投稿されておりました。それは我々後進の者にも、それを理解して欲しいという意味だったと思います。

大阪府の指摘を踏まえて SA 連協の中に設立準備委員会がつけられ、20 回以上の準備委員会をへて設立にこぎつけた事、大変な労力で設立にこぎつけたという事です。

NPO という組織で社会的な信用と責任ができ、広く市民・企業・行政とのパートナーシップと協働の精神で活動ができるという事です。

この精神と13年の長きにわたって築きあげられてきた社会的信用・責任を一層大事にしていきたいと思っています。

又、この13年の伝統の上に新しいものを積み上げていきたいと思っております。

新しく加わったメンバーの中から「活躍支援」という活動が生まれてきています。

高大の学びを社会に還元する、この活動を何とか軌道に乗せたいと思います。

何卒皆様のご協力をよろしくお願い致します。

II 事業部 活動方針

・事業の実施に関する事項

1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動方針（報告者：三田理事）

前期に引き続き3つの活動の流れを中心に活動していきます。

① 四天王寺「わか市」を中心とするイベント参加

四天王寺境内で月1回催される「わか市」は、市民が趣味的に作った品を展示して即売もするという「市」で誰もが気軽に見て回り選べる雰囲気定着し、私たちの「おもちゃづくり」も子どもたちからシニアまで簡単に作れて面白そうと足を留めて作っ

て楽しんだという点で人気です。このような交流をこれからも大切にしていきたいと思えます。(今年度は8回参加予定)

- ② 大阪区民カレッジ、大阪府民カレッジ各校のカリキュラムにある「おもちゃづくり講座」の講師として受講生を指導します。大阪府高齢者大学校の姉妹校として現在市内・府下合わせて16校ありますが、いずれも「地域密着型カレッジ」を目指し、修了後の地域住民との交流を図る方策の一つとして「おもちゃづくり講座」が組み込まれ、これまで各々の地域で交流に役立っており今後も引続き注力していきたいと考えています。(今期は2校を担当します)

- ③ 「おもちゃづくり教室」の開催

隔月1回(奇数月)開催。日本古来より伝承されてきたおもちゃを材料・工程などを工夫し改良して継承してきた先輩たち中心に開催してきましたが、今では多くの人々が更にアレンジ、工夫して「独自のスタイルのおもちゃ」として各々の地域で、活用されており、「教室」の果たしてきた役割も少なくなかったと考えています。年齢や経験の有無は問わず今後とも技能、情報の共有、交流の場として継続していきたいと考えています。

- ④ 今後の問題点

これまで指導的役割を担ってきた先輩たちの高齢化であり、ご自身やご家族の健康問題が活動を制約されているという問題です。しかし、この問題も各地域には優れた指導者もおられ、また優れた技能を持って活動されている方が多く、私たちがNPOを立ち上げた当初の役割は充分果たせたのではないかと考えていますが、今期も「おもちゃづくり」を通じて幅広く市民との交流を図っていきたいと考えています。

2. おもしろ算数教室事業部 活動方針 (報告者：二葉副理事長)

- ①この教室を理解していただくために、パズル体験の機会を増やします。そのために「おもしろ算数パズル塾」という休眠システムを活用したいと思えます。サポーターの方々が、この塾の実施を図り「パズルを解く楽しみを知って、脳の活性化を目指す」ことを多くの方々に知って頂きます。
- ②出前教室の機会を増やしたいものです。報告でも触れましたが、継続的に実施しているところでは、何回も参加している方が、目新しいタイプのパズルに対してもどんどん解き進んでいかれます。しかし、最近参加し始めた方は、慣れないで、なかなか解き進まない姿と対照的です。これは、脳が活性化されているか否かの証と言えるでしょう。
- ③パズル体験の機会を増やし、テキストの販売を進め、算数パズルを解くことの楽しさを、多くの方々に知っていただきたいと考えています。その上で、「おもしろ算数教室」とはどのようなものかを、知っていただきたいものです。そのために体験会や「おもしろ算数パズル塾」実施の機会を増やしたいし、多くの参加者を募りたいと思えます。
- ④サポーター会を、より充実したものにするために、次の様に取り組んでいきます。次の目標をたてて、楽しく活動できる会にしていきたいです。
- (1) 各々のサポーターが「おもしろ算数パズル塾」の実施を目指す。
 - (2) 新しいパズルを、互いに提案し、楽しみます。

- (3) おもしろ算数教室の目的「楽しみながら、脳の活性化を図る」ことを目指し、テキスト販売にも力を入れたい。

3.国際交流事業部 活動方針 (報告者：山口理事)

今期は国際交流事業部の理事、運営委員に新しいメンバーが加わりました。新たなメンバーを加えて従来の活動だけではなく、新たな活動も増やして活動の幅を広げていきます。

具体的には今までの大阪大学留学生ホストファミリーの窓口団体として留学生支援活動と国際交流サロンに加えて下記活動を実施します。

① 大阪日本語教育センター留学生交流プログラム【略称 I-SEP(アイセップ)】

留学生との交流を通じて、お互いの国の文化・習慣の認識を正しく認識し相互理解を深めると、ともに、留学生の日本での生活の助言や相談にも対処できることを目的とします。

② 留学生就活支援活動【略称 4Ist(フォーイスト)】

日本の企業への就職を目指す外国人留学生に「日本の就職活動」に関する知識を習得させることをミッションとして、国際文化交流を礎に留学生支援を展開し、日本経済の発展に貢献するシニア組織をビジョンとして進める活動であります。

以上を今年度の国際交流事業部の活動とします。

1,については、高大の国際文化交流科卒1～5期生を中心に呼びかけたところ、約40名程の賛同者が得られ、留学生との対面式も終え、グループ毎にと活動をしています。

2,については、国際文化交流科5期生8人で各関係機関との折衝、留学生発掘活動をしています。従来の活動と新たな活動を加えた4つの活動を相互に連携させ、相乗効果が生み出せるように月一回の運営会議を継続開催いたします。

4.事務局 活動方針 (報告者：渡邊 理事)

今回、理事の一員として事務局を担当することになりました渡邊です。

3年前高大の「国際文化交流科」を受講し、修了後「シルバーアドバイザー」の資格を得ました。SAの資格を取得して地元(同窓会旭)の活動だけでなく社会貢献活動になにかたずさわりたいと感じ、本会に参加させていただくこととしました。

高大とは2年間離れておりましたが、本年水曜日の「家族と社会に役立つサポートデザイン科」を受講するとともに、月曜日の「身の回りに関する法律を易しく学ぶ科」のCDをお手伝いさせていただいております。

当会は、平成19年に発足して以来13年に亘り活動をされています。

設立当初の活動計画には

- SA国際交流活動専攻コース修了生によるイベントの案内と参加
- 企業・大学・各種機関の協力を得て「外国の方々との交流の場」を作る
- 外国に赴きコーラス等をツールに国際親善と交流を図る

と記載(創刊号からの抜粋)されており、今後の活動のなかには私なりにご協力できるものが、

あるのではないかと考え、縁あって本会に参加させて頂くこととしました。

会員さんとの繋がりも、メールや SNS 等「SA・ネット大阪ニュース」での繋がりだけでなく色々な新しい手法も試みながら会員の方々それぞれの活動をサポートしていく面もあると感じております。まずは皆さま方のお役に立てるように力を注いでいきたいと思っておりますので、何卒ご指導とご鞭撻頂きますようよろしくお願い申し上げます。

5.広報部 活動方針 （報告者：大川副理事長）

1) 広報誌の継続発行

- ① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、年3回3月、7月、10月の発行を目指します。
 - ・継続して会員交流の場「かわら版コーナー」等、充実した内容を図り発信します。
- ②各事業部イベントチラシの支援を行います。

2) 啓発活動

- ① 高大校友会の PR コーナーのラックにも継続して「PR チラシ」等を配架、SA ネット大阪の PR に努めます。
- ② 関連団体行事の「高大文化祭」「高大スポーツ大会」「高大修了式」「区民、府民カレッジ修了式」に事務局と共同で参加し、「PR ブース」で、資料等での SA ネット大阪の PR に努めます。

3) ホームページの推進

- ① SA ネット大阪主催のイベント「国際交流サロン」、「おもしろ算数教室」、「おもちゃづくり教室」等の各事業部の資料更新と引き続き「事業部トピックコーナー」の充実で、定期的なホットニュースを発信します。
- ②「SA・ネット大阪ニュース」を、年3回（2019年）4月、7月、10月にアップします。
- ③ 関連団体の大阪府高齢者大学校、高大校友会、関連団体のイベントの報告アップします。
 - ・SA ネット大阪会員の主催する情報も随時掲載して更新を図ります。
- ④ホームページ全体のリニューアルの検討に入ります。

4) ネット大阪データ管理

- ・ネット大阪事業経営管理データの検討にも支援します。



おもちゃづくり教室



おもしろ算数教室

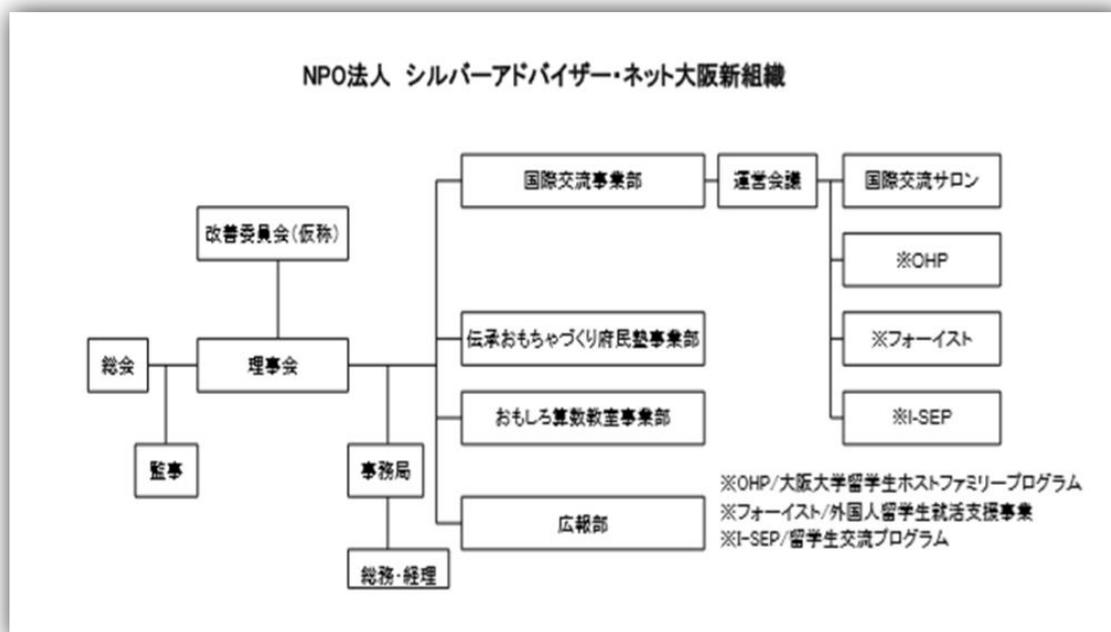


国際交流サロン

◆ ◆役員名簿 (2019年6月1日～2021年5月31日) ◆ ◆

現在の役員	新役員
理事 (顧問) 西川 龍夫	理事 (理事長) 村松 秀明
理事 (理事長) 武内 信憲	理事 (副理事長) 二葉登代子
理事 (副理事長) 二葉登代子	理事 (副理事長) 大川 正彦
理事 (副理事長) 大川 正彦	理事 (副理事長) 田内 幸夫 (新任)
理事 三田 進一	理事 三田 進一
理事 島田 道子	理事 武内 信憲
理事 森井 英和	理事 島田 道子
理事 村松 秀明	理事 森井 英和
理事 小林 町子	理事 森川 加也
理事 森川 加也	理事 北川 陽子
理事 北川 陽子	理事 原木 富夫 (新任)
監事 新鞍 清彦	理事 山口 正人 (新任)
	理事 渡邊 耕平 (新任)
	監事 新鞍 清彦

[任期満了] 理事 小林 町子



◆ ◆会員かわら版コーナー◆ ◆ NO-③①

「シルバーアドバイザー・ネット大阪への仲間入り」

報告者5期 国際文化交流科修了 原木 富夫

2018年度、私は、初めて大阪府高齢者大学校の受講生となりました。4月入学時に、コーダイの在り方を展望する中で「高齢者が動けば社会が変わる」という言葉を聞かせて頂きました。あっという間に、一年が経ってしまったわけですが、国際文化交流科というクラスの中で、良き仲間が出来て本当に良い一年でありました。一方で、このシニア時代に、私自身がどのような人生軸を創っていくかを考えるきっかけづくりの一年でもあったような気がしています。

コーダイに通う中で、早々に一年が過ぎようしていた頃、同じ国際文化交流科として学んだOBの方から、「5期としてなにかできませんか？」という熱心な働きかけを受けました。あまりの熱心な働きかけであったため修了式を迎える頃には、せっかくの知恵あるシニアの仲間たちの英知・経験をどこかに使わせて頂くことができなかな？という考えとなっていました。そんな経過もあり、シルバーアドバイザー・ネット大阪の組織の中で、新しい何かをしたいなという気になり、同クラス数名のメンバーからの賛同も得て、このシルバーアドバイザー・ネット大阪の国際交流事業部の組織下で、「外国人留学生就活支援事業」たるチームを立ち上げることとなりました。



昨今、行政では、日本の大学で修学し日本企業に就職したいと希望する留学生を支援する姿勢がありますが、そんな外国人留学生に対し就活に必要な「面接マナー、ビジネスマナー、業界研究、企業組織研究、個人面談」など、私たちシニアが持つ知恵・経験を彼らにシェアさせて頂くという事業であります。単なるボランティア作業でなく、学生たちの為にもなり、且つ、我々シニアが持つ多くの経験にさらに磨きをかける為に、各企業における情報を収集・勉強し最新情報とした上で、学生たちにそれらをシェアしていくという、我々も学び、学生も学ぶ、というWin-Winのボランティア活動・事業であります。現在のところ、8名のメンバーにて各関係団体・大学に対し学生を取り込む募集活動を開始しているところであります。

少子高齢化が益々進んでいる日本では、外国人受け入れによる多文化共生環境は大きく変化しています。2000年代における特徴は、“生活支援”と言うものでありましたが、2010年代以降は、“活躍支援”へと変化しています。“地域の国際化”から、現在では“多様性（ダイバーシティ）”という言葉がキーワードとなっています。優秀な外国人留学生が日本企業に就職し、企業・社会の基盤を創る一員となることにより将来の日本における経済安定、社会安定へ貢献をしてくれることであろうと思っています。我が国が、長寿時代へと突入している中で、従来のシニア時代として約束された人生のルートというものとはなくなり、チャレンジしようとする人、それを応援しようとする人、が益々必要な社会になるかと思っています。待ちの姿勢でなく、シニアの活躍が期待される時代へと移行していくことを実感しながら、取り組んで行きます。

人口の3分の1が高齢者となる時代、
誰もが **認知症・認知症予防** と向き合う知識を。



MCI 専門士



一度かかると完治が難しいとされる認知症において、何より重要なのは「かからないこと」。
認知症の手前である MCI (軽度認知障害) 段階での予防について、一人一人が
正しい知識を身に付け、予防に努めていくことが大切です。

「MCI 専門士」とは？

認知症・認知症予防に関する知識を
基礎から分かりやすく、
どなたでも学べる**専門講座**です。



- ▶ 認知症に関する基礎知識
- ▶ 認知症にかからないための予防法
- ▶ 現代の認知症予防の現状 など、
認知症について広く学ぶことができます。

★本講座では、とくに MCI (軽度認知障害) の重要性に着目し、認知症予防に重点を置いた講義を行っています

資格も取れる？

1日の受講で、認知症予防に特化した
「**MCI 専門士資格**」を
取得することができます。



ご自身・ご家族のための認知症対策
はもちろんのこと、認知症予防に関連
したビジネスや社員の認知症予防、セミナー等
にも活用できる専門資格が、1日の受講で取得
できます。

MCI 専門士 資格取得講座

(1日コース/約7時間)

【受講料】20,000円 (税別) テキスト・教材費込み

【年会費】不要 (3年更新制)

お問合せ、お申込みはホームページから
〈TEL〉06-6195-8646



ご自身・ご家族の
認知症対策に



ビジネスに役立つ
知識習得に



認知症予防に取り組む
方々をサポート

チェック
してみよう！

その症状は「認知症」？「加齢による物忘れ」？



一般社団法人
日本認知症予防協会

MCI 専門士は一般社団法人 日本認知症予防協会がサポートしています。

2019年度「年会費」納入のご依頼

平素は、「シルバーアドバイザー・ネット大阪」に格別のご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

2019年度(平成31年4月1日～令和2年3月31日)につきまして、新規入会の方、継続入会いただく方、年会費の納入案内をいたします。同封の振込用紙にて、下記宛お振込みいただきますようお願い申し上げます(正会員・賛助会員)

記

◇正会員 会費年額 3,000円 ◇賛助会員 会費年額 1,000円

◇振込先 ゆうちょ銀行 口座記号番号 00970-1-235092

◇口座名 NPO法人シルバーアドバイザーネット大阪

・振込料は、恐縮ですがご負担をお願いいたします。

・新規申し込み希望の方は入会申込書を送りますので、郵送、FAX、或いは **E-mail** に添付して、下記宛にご返送ください。

NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪

〒540-0006 大阪府中央区法円坂1-1-35

大阪市教育会館(アネックスパル法円坂)内

認定NPO法人大阪府高齢者大学校内

TEL: 06-6360-4565 FAX: 06-6360-4410

[E-mail sanet@osaka-koudai.com](mailto:sanet@osaka-koudai.com)

[URL http://sanetohsaka.com](http://sanetohsaka.com)

[編集後記]

「SA・ネット大阪ニュース」第33号は、「総会特集号」の内容でお届けいたしました。

「議案書」と「活動計算書」については、ホームページにも掲載していますので、是非ご覧ください。初春の令月「令和元年」が始まりました。NPO・SA ネット大阪にも新理事長と4名の新任理事が着任しました。組織の世代交代、社会貢献ニーズに応えるNPO組織への成長にご期待ください。

次号は前期事業の中間報告の内容で、2019年11月に発行の予定です。

広報部：M.O